

平成 30 年度 奈良県租税教育推進連絡協議会会長賞

形を変えて

奈良県立奈良朱雀高等学校 一年 馬場 詩織

「大丈夫。こんなの平気だから。」

町中で強がる言葉が飛びかっています。転んで大怪我を負って大量の出血があったとしても病院へは行かず自立で治そうとします。それは、病院に行くとしてもお金がかかるからかもしれません。ですが、このまま病院に行かずにいると怪我が悪化して命にまで関わってきたら、どうすればいいのでしょうか。

もし税金がなければ、そんな光景が日常であふれてしまうかもしれません。だから、税金がないと私たちは今みたいに楽しく安心して生活を送ることはできません。例えば、税金がなかったら道路を通れなかったり、学校に通えなかったり他にももっともっとたくさんことができなくなります。今、私たちがどれだけ税金に助けて貰っているかが分かります。

実際に私は、税金にものすごく助けて貰っているなと感じたことがあります。私が小学生の時に親が離婚をして生活が苦しい中、母は三人の子供を女手一つで一生懸命働いて育ててくれています。ですが、やはり一生懸命働いて稼いでも女手一つで三人の子供を育てていくにはお金が足りなく、生活するにも苦しいので生活保護に入っていました。最初の頃は、生活保護から出ているお金は税金からも出ているなんて知りもしませんでした。何気なく、病院や眼科に行っていました。ある時、私の家族はお金を払っていないけど、他の家族はお金を払っていることに気が付きました。どうして払っていないのだろうと母に聞いてみると母は、

「生活保護に入っているから、お金を払ってもらっているんだよ。」

と言われました。その時はそのお金がどこから出ているのかも考えようとしずに、無料で病院にいけるなんてすごいやると思っていました。今思うと、本当に感謝しないといけないなと思います。税金のありがたさをものすごく実感しました。今は、生活保護からはずれましたが、税金への感謝の気持ちは忘れてはいけななと思います。税金の中で私がよく払う消費税は嫌々払わずに気持ちよく払っていきたいと思います。もう少しで、消費税は八パーセントから十パーセントに変わるとありますが感謝の気持ちをいっぱい込められると思って払っていきななと思います。

税金は、私たちの元へ形を変えて何倍にも返っていることを忘れななせん。